

再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課
担当課長名：松谷 春敏

事業名	大津町線		事業区分	街路	事業主体	名古屋市
起終点	自：名古屋市港区竜宮町 至：名古屋市港区船見町		延長	2.2 km		
事業概要	本事業は、本市中央を南北に貫く幹線道路である大津町線の港区竜宮町交差点から船見町交差点までの2,150mにおいて、現況24.54mの幅員を30mに拡幅整備するものである。併せて道路の中央に都心方向と伊勢湾岸道路を結ぶ都市高速道路を別事業として名古屋高速道路公社において整備する。					
H9年度事業化	S21年度都市計画決定	H9年度用地着手	H17年度工事着手			
全体事業費	約100億円	事業進捗率	45%	供用済延長	0 km	
計画交通量	22,600台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.8 (残事業) -	総費用 (残事業)/(事業全体) - / 94億円 事業費： - / 92億円 維持管理費： - / 2.0億円	総便益 (残事業)/(事業全体) - / 265億円 走行時間短縮便益： - / 258億円 走行費用減少便益： - / 7.1億円 交通事故減少便益： - / 0.00億円	基準年 平成18年		
感度分析の結果	未実施					
事業の効果等	・空港港湾アクセス道路〔中部国際空港・名古屋港へのアクセス向上〕 ・有料道路支援関連事業〔名古屋高速道路高速3号関連道路〕 ・東橋改築による災害時の緊急輸送道路・避難路としての機能確保					
関係する地方公共団体等の意見	特になし					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	・平成16年12月に伊勢湾岸自動車道路が東名高速道路と接続し、平成17年2月に中部国際空港が開港するなど、本市南西部方面の広域交通網並びに国際交通拠点へのアクセス道路としての位置付けが高まっている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	・平成18年度末において進捗率45%の見込みである。平成17年度からは山崎川に架かる東橋の改築工事を行い、平成23年度に事業完了する予定である。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	・平成23年度に事業完了する予定である。					
施設の構造や工法の変更等	特になし					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	・本市の第3次長期総合計画である「名古屋新世紀計画2010」において整備が位置付けられた重要な事業であり、地元の事業に対する熱意も高いため。					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。